

1 ゴミの減量化のアイデアについて

ただいまの^{とば さきえ}鳥羽咲恵議員のご質問にお答え申し上げます。

平成27年度の群馬県の1人1日当たりのごみ排出量は1,031グラムとなり、全国の47都道府県の中で45位、ワースト3位となっています。沼田市の1人1日当たりごみ排出量は、1,123グラムで、群馬県内35市町村の中で27位と、成績はふるいません。

このように、本市でも多くのごみが排出されていますが、ごみの減量化対策としては、その頭文字から三つのR、ごみを減らしたり出さないようにする「リデュース」、ものを繰り返し使う「リユース」、いらなくなったものを原材料にして、同じ種類のものや他のものを作る「リサイクル」、のスリーアール活動を進めていくことが、重要な取り組みであると考えております。

また燃やせるごみの中には、紙類やペットボトルのラベルなど資源となるものが多く含まれていますので、これらの分別徹底と生ごみの

水切りの推進、さらに長野県でも取り組んでいる食べ残しを減らすための「さんまる・いちまる運動」などの取り組みも進めております。

このような取り組みを実施するためには、市民一人ひとりの協力がとても重要ですので、広報紙やホームページなどで繰り返して市民のみなさんに広く呼びかけております。

本市としましても、長野県などの事例も参考にしながら、今後いろいろなごみの減量化対策に取り組んで参りたいと考えておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

以上申し上げます、^{とばさきえ}鳥羽咲恵議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。